

【家庭教育支援チーム】

チーム名	岩沼市家庭教育支援チーム「i ある子育ていわぬま」 URL: http://www.city.iwanuma.miyagi.jp/documents/happychild.pdf
活動開始年度	平成20年度
活動拠点	岩沼市南部地区総合福祉プラザ(岩沼みなみプラザ)
活動範囲	岩沼市内全域
活動財源	<input type="checkbox"/> 文部科学省補助事業(地域における家庭教育支援総合推進事業) <input type="checkbox"/> 文部科学省委託事業(先駆的家庭教育支援推進事業) <input type="checkbox"/> 厚生労働省事業(事業名) <input checked="" type="checkbox"/> 地方単独事業として実施 <input type="checkbox"/> 特段の予算措置はないが、自主的に活動を実施 <input type="checkbox"/> その他の支援により活動を実施 ()
組織体制	<u>16人</u> 主任児童委員 2名、子育てサポーターリーダー 5人、 子育てサポーター 2人、地域ボランティア 7名
具体的な活動内容	<input type="checkbox"/> 講座型 <input type="checkbox"/> 拠点型 <input type="checkbox"/> 訪問型 <input type="checkbox"/> 総合型 <input checked="" type="checkbox"/> その他(情報誌の編集・校正・仕分け・配布)
	【活動内容】 ◎子ども・子育て情報紙「Happy チャイルド カレンダー」の作成 ○「子ども・子育て支援関係施設の行う事業を一覧で見たい」という市民の声をきっかけに、市民と行政が協働で情報紙を作成。 ○小中学校・子ども会の行事も掲載することで、幅広い年齢層の保護者に対応。 ○発行部数は約1100部。約63施設に配布。 ※施設は幼稚園、保育所、病院、スーパー等 ○作成工程 ①編集: 子ども・子育て支援関係施設の事業や小中学校・子ども会の行事の日程確認。コラム作成。レイアウト等について話し合い。 ②校正: 電子メールでやり取りしながら、メンバー全員で校正。 ③印刷: 季節に合わせた色の用紙に印刷。1年に2~3回カラー印刷。 子育て支援関係のチラシがある場合は、情報紙とチラシをホットキスで止める作業。



- ④配布：施設ごとに担当を決め配布。店頭等に置かせていただいたり、民生委員等を通して地域全体に広めたりする。
- ⑤ホームページ：市のホームページでも閲覧できるようにする。

活動の成果

- 若い世代から「楽しみにしている」という声が聞かれる。
- 手渡しする場合もあるので、子育て世代の方との繋がりを感じる事ができて嬉しい。
- 民生委員に知らせることで市内全地域に広がる事ができた。
- ホームページに載せたことで、スマートフォンで活用している若い母親が増えている。
- 訪問型事業「こうのとりの干屋さん」と連携し、訪問する際に配布できている。

活動において苦労した点や課題

- 若い世代も活動に参加してもらえないようにしなければならない。
- パソコンで作成できる人を増やす必要がある。
- 愛読している方の声を取材して掲載するなど、内容の工夫が必要。
- 店舗や病院など、置いてもらえる場所を増やす。
- 子育て事業の掲載希望団体が増えているが、すべてを掲載するのは難しい状態。どこまで載せるかを決めていく必要がある。

今後の活動目標

☆子育てしている方々の助けとなるように、地域に密着した身近な情報誌を継続して発行していきたい。

問合せ先

(部署・担当者氏名) 岩沼市教育委員会生涯学習課・菊地 英樹
(TEL)0223-22-1111(内 572) (E-mail)kyouiku@city.iwanuma.miyagi.jp